



平成24年12月1日発行

恒生病院だより 第19号

こうせい



経頭蓋磁気刺激と 集中的リハビリ療法

脳卒中のリハビリ
TMS療法



—脳卒中慢性期の上肢麻痺に対する最新の治療

恒生病院では、病院に隣接して平成25年4月よりリハビリテーション（以下、リハビリ）病棟を建設中です。新しいリハビリ病棟では、主に脳卒中発作後1～3カ月の患者様の運動麻痺などに対するリハビリを行います。

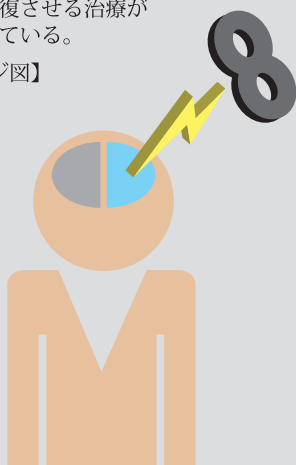
脳卒中の後遺症は発症後3～4ヶ月を超えてしまうと、リハビリを行っても麻痺の回復はもうそれ以上は望めないと考えられています。そのため歩くことは出来ても、麻痺側の手は使えないという患者様が大勢いらっしゃいます。恒生病院では、リハビリ病棟の開設を機に、これらの患者様に対する「経頭蓋磁気刺激（TMS）」と「集中的リハビリ」療法を行う予定です。この治療法では、たとえ脳卒中発症後数年経っていても手の麻痺の改善が期待されています。

経頭蓋磁気刺激療法とは？

「経頭蓋磁気刺激（TMS）療法」とは、磁気を発生させる8の字の形の機械（磁気刺激装置）を用いて、図のように頭の外側から大脳を連続的に刺激することにより、脳卒中により障害された脳の周囲の健康な脳が、障害された脳の代わりに働く準備ができます。その後リハビリを行うことにより、脳の持つ回復力を最大限に引き出し、麻痺した手の機能回復を図ります。脳へのTMSを20～30分、その後リハビリを約60分行い、その後さらに60分の自主トレーニングを行います。これを1日2回、14日間行います。そのため、この治療を行うためには14日間の入院が必要です。

頭の外から脳に磁気刺激を与えた後に、手指を動かす訓練を行うことで、麻痺を回復させる治療が目ざされている。

【イメージ図】



TMSを受けた後
リハビリを行う



●手や指の曲げ伸ばし



●ものをつまんで離す



●言語トレーニング
など

この治療法は、東京慈恵会医科大学リハビリテーション科 阿保雅博教授グループにより臨床研究され、これまでに脳卒中発症後1年以上経過した後遺症のある700名以上の患者様を治療し、7～8割の患者様の手の機能回復が認められています（回復の程度には個人差あり）。

●ポイント●

- ・後遺症発生から時間が経っていても改善が期待できる
- ・すでに障がいを受けた部位の機能を再開させるものではない
- ・治療は磁気を使ったものなので、痛みや傷害を伴わない
- ・治療の対象は、上肢麻痺もしくは失語症のみで、認知症やうつ病でない方
- ・この治療法は保険適用外のため自費となる

当院での受療方法につきましては、詳細が決まり次第お知らせ致します

回復期リハ病棟開床に向けて新規スタッフ募集中

募集人数
追加！

現在、当院では来春の回復期リハビリテーション病棟開床に向けて、新規スタッフを募集しております。誠意と親切をモットーに、安全で安心な医療を提供できるよう救急医療を始めとする地域医療に専心努力しております。私たちと一緒に働いてみませんか？

- 理学療法士：9名
- 作業療法士：8名
- 言語聴覚士：2名
- 看護師：若干名
- 薬剤師：1名

*MSW(社会福祉士)の募集は終了しました。たくさんのご応募を有難うございました。

詳細は当院ホームページにて掲載中です。またお電話でも直接お問い合わせ頂けます。
担当：前田または山崎まで (078) -950-2048【直通】



外来担当医表

平成24年12月より 【受付時間】 午前診 8:30～11:30 夜間診 17:00～18:30
* *12月より新しく脳外科・森医師が就任いたしました* *

		月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～	1診 (脳外予約)	田村	奥田	田村	頃末	古瀬	古瀬/頃末/田村/森 交替制
	2診 (脳外)	古瀬	森	奥田	池田	田村	※2 奥田
	3診 (整形)	角谷	平田	小林	河本	小林	川上
	4診 (内科)	頃末 (脳外予約)	高橋	※1 藤田 (初・予約診)	小坂	※1 藤田 (初・予約診)	
	5診 (脳外初診)	森	古瀬	森	田村	頃末	
午後予約診			奥田				
夜間診 17:00～	1診 (脳外)	頃末	森	奥田	田村	中井	
	2診 (脳外)			森	池田		
	2診 (内科)			津田			

※1 水・金の内科・藤田診は予約優先となります。また、検査の為に午前9時30分より診療開始です。
※3 第5(土)の奥田診は休診となります。

★ 1診は予約の方のみとなります。予約診の受診方法については、受付にてご確認ください。
★ 救急搬送や緊急手術などにより、急な変更がある場合がございますのでご了承下さい。

脳外科診は患者さまが多く大変混み合います。再診を受けられる方は、『予約診』での受診をおすすめ致します。

交通のご案内

電車でお越しの方・・・

三宮方面からは神戸電鉄「谷上」駅より、三田方面からは神戸電鉄「三田」駅より「道場南口」駅下車、すぐ。

お車でお越しの方・・・

中国自動車道「西宮北」インターを降り、有馬街道を三田方面へ約2km。

駐車場のご利用について

病院東側に契約駐車場がございますのでこちらをご利用下さい。
(診察を受けられた方に限り、駐車券を病院会計までお持ち頂くと3時間まで100円となる割引サービス処理を致します。)

患者の権利と義務

全ての患者は個人として人格と価値観を尊重され、医療従事者との信頼、相互協力関係のもとで誠実な医療、看護を受ける権利を有しています。そのため恒生病院では患者の権利とそれに伴う義務を定めています。

権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
患者は誰でも社会的地位、民族、国籍、宗教、障害の有無によることなく最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 十分な説明と情報を得る権利
患者は自分が受ける治療や検査に関して分かりやすい言葉で十分に理解できるまで説明や情報の提供を受ける権利があります。
3. 自己決定する権利
患者は十分な説明と情報提供を受け、医師や病院の選択、治療方法を自ら決定する権利があります。
4. 自分が受けた医療について知る権利
患者は自分の病気や受けた治療について知る権利があり、カルテの開示などを求める権利があります。
5. 個人情報を守られる権利
患者は診療に関する個人情報やプライバシーを厳しく守られる権利があります。

義務

6. 患者は自身の健康状態や考え方を医療従事者に正確に伝えてください。
8. 患者は他の患者の治療や療養生活に支障をきたさないようにしてください。

無料送迎バス

病院から無料送迎バスの運行もございます。
送迎ルートや時刻表については、直接病院総合受付窓口までお問い合わせ下さい。 ☎ 078-950-2622

恒生病院の理念と方針

理念

誠実な医療・介護を通じて社会に貢献する

方針

- ・脳神経外科を中心とした救急医療に情熱を持って取り組み、地域医療に貢献します。
- ・患者さまの尊厳を守り人権を尊重し、安心で安全な医療・介護を提供します。
- ・絶えず新しい知識と高度な技術の習得に努め、地域から信頼される施設を目指します。
- ・職員一人一人が生きがいとやりがいを持って全人格を医療・介護に捧げられる職場を実現します。
- ・法規範を遵守し、開かれた施設として情報を公開し、第三者評価を積極的に受け入れます。

施設管理者(院長) 古瀬 繁

田村先生のプライベートコラム

山が呼んでいる

後半

前回8月号掲載の前半の続きをお届けします！

15年程前にちょっとしたきっかけで始めたマウンテンバイク。
(以下、MTB) 初めての山行は散々だった先生も回を重ねるごとに慣れていき――

そして、人間、慣れというのは恐ろしいもの、怖くて乗ることさえできなかった下りもそこそこ乗れるようになり、通いつめたおかげでどのルートで上り、どのルートで下れば効率よく楽しめるかがわかり始めると、もうとまらない。

今ではMTBも4台を乗り継ぎ、現在のMTBはフレームだけを購入して自分でブレーキやら変速機、フロントショックなどを組み立てた。満足いく仕様にするため、ブレーキセットも3セット、ホイールも3セット、フロントショックは2セット、その他はいちいち数えきれない程の改造をほどこした。さらに、専用の工具セットまで購入した。山中でのタイヤのパンク修理は数知れず。転倒も数知れず(山中での転倒は、スピードが低いので怪我をしにくい。アスファルト上の転倒はスピードが高いので怪我をしやすい。)

※そう、ここまで読んでいただいて、少しわかりにくいところがあるかもしれない。山道をMTB担いで、歩いて上って、山道をMTBに‘乗って’下る。これをすなわち、「MTB山行」といいます。

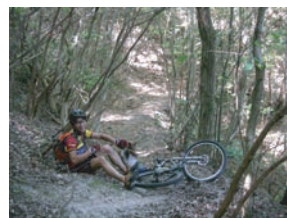


そう、2年前の今夏最高の真夏日！とニュースで叫ばれる日、「六甲山全縦」を達成した。もちろん、MTBとともに塩屋から宝塚まで。始発の電車で須磨駅へ行き、暁の山道をライトを頼りに上り、高取山で日の出を迎えた。途中の苦労は今や笑い話だが、10時間で完走する事ができた。

MTBで富士山、人生一度は達成したいが、ちょっと規制が強くなっているの、これは無理かもしれないなあ。まあ、楽しみが先に伸びたほうが生きがいも大きいって言うもんだ。

無茶は出来ない年、とも言われるが、人生は短い。最高の人生を最高の時間で過ごしたい。仕事、遊び、どちらも精一杯やること。中途半端は、人生の無駄と考えている。

(文：田村 昌吾)



おくすり手帳を持とう



文：薬剤師 宮脇

★おくすり手帳ってなに？

おくすり手帳とは、調剤薬局や医療機関にて調剤された薬の服用歴をまとめた手帳のことです。複数の医療機関にかかっている場合や複数の薬を処方されている場合は、おくすり手帳を参照することで悪い飲みあわせがないか、同じ成分の重複投与がないかがわかります。

昨年の東日本大震災の時は、おくすり手帳が現場で大変有効だったと聞いています。そのため、この4月の保険改定で原則として全ての調剤薬局利用者へおくすり手帳が無料で発行されるようになりました。

★病院では・・・

外来診察時に、先生がおくすり手帳をもっていませんか？と聞かれているのをよく耳にします。またご入院になられた患者さまには、おくすり手帳と今現在服用されている薬をお持ちいただくようお願い

しています。一包化された薬や現在服用されていない薬、服用方法のわからない薬がある場合、おくすり手帳はとても役に立ちます。

退院のときには、お薬が処方された場合、お預かりしたおくすり手帳のつづきのページにその処方内容を貼ってお返ししています。

★おくすり手帳を持とう

最近はジェネリック医薬品も増えてきています。おくすり手帳は常に携帯し、医療機関にかかる時は必ず提示して下さい。複数の医療機関にかかっている場合でもおくすり手帳を1冊にまとめ上手に活用していきましょう。

★それからもうひとつ！

もしもの時のために今自分が服用している薬、薬の保管場所等を家族にも分かるようにしておきましょう。



このコーナーでは、近隣地域の開業医・診療所・病院などをご紹介します

病診・病病連携

紹介ファイル vol.7

つだ内科クリニック

今回は、北区藤原台にて内科・循環器科・呼吸器科の診療をされている、
つだ内科クリニックさんをご紹介します。



院長：津田 晃孝 先生

「当院は心臓や肺の病気はもちろん、高血圧や糖尿病などの生活習慣病、その他内科の病気全般にわたって幅広く診療にあたっています。めまいや頭痛、しびれなどの症状で来院される方も多く、少しでも脳卒中の疑いがあれば恒生病院で迅速、適切に対応していただけるので大変心強く思っています。今後も恒生病院の良きパートナーとして、地域の皆様の健康維持のためお役に立てればと思います。」

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
16:00～19:00	○	○	×	○	○	×	×

診療科目 ◆ 内科、循環器科、呼吸器科

住 所 ◆ 神戸市北区藤原台北町 7-6-6 (神鉄田尾寺駅 徒歩 4 分)

電 話 ◆ 078-987-2002

発行：地域医療連携室

平成25年4月 回復期リハビリテーション病棟 OPEN予定！

脳梗塞や脳出血などいわゆる「脳卒中」の治療には、「急性期」「回復期」「維持期」の三段階があるとされています。

恒生病院は今まで急性期を担当し、回復期は他の施設に引き受けて頂いておりましたが、平成25年4月より回復期リハビリテーション病棟を開設することとなりました。

この開設に伴い、今まで課題としていたリハビリテーションの充実を図ることで、地域の中で完結できる包括的な医療の提供に一步近づけると確信しております。



新病棟完成イメージ図



第1回 「リハビリテーション勉強会」を 開催しました



平成24年10月30日、医療連携の推進として、またリハビリテーションへの理解を深めて頂くことを目的に、第1回「リハビリテーション勉強会」を開催しました。これは、来春の回復期リハビリテーション病棟開設に伴い、「新たにどんな医療サービスが受けられるのか」「今までの恒生病院と何が違うのか」「どんな患者さまが対象になるのか」など、回復期リハビリテーション病棟の役割についてお話しさせて頂きました。

当日は、地域住民の方々や、近隣の福祉や医療関係機関の方々が数多くご参加下さり、会場は満員となりました。今回の勉強会につきましては初めての試みということがあります。今後の勉強会となるよう努力して参りたいと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

この度はたくさんのご参加を頂き、誠に有難うございました。

(広報委員会：濱中)